



## 第2回トランスレーショナルリサーチ研修会 プログラム

日時：2004年2月28日(土) 10:00～17:50

場所：(財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター 2F 第一研修室

開会の挨拶 (財)先端医療振興財団 村上 雅義(10:00～10:10)

<午前 の部> (10:10～12:15)

1. トランスレーショナルリサーチ(TR)における統計学的考察 座長 富山医科薬科大学 折笠 秀樹
- TRにおける統計学の役割 京都大学 手良向 聡 (10:10～10:35)
  - TR 臨床試験の特徴と留意点 京都大学 松井 茂之 (10:35～11:00)
  - 第 / 相臨床試験デザインの理論的發展 臨床研究情報センター 大門 貴志 (11:00～11:25)
  - エンドポイント選択における考え方 臨床研究情報センター 小田 英世 (11:25～11:50)
  - 症例数設計の基礎 富山医科薬科大学 折笠 秀樹 (11:50～12:15)

- 昼 食 - (12:15～13:30)

<午後 の部> (13:30～17:40)

2. トランスレーショナルリサーチ(TR)プロトコル作成、説明同意文書のポイント (13:30～14:30)
- 座長 臨床研究情報センター 古瀬 清行
- TR プロトコル作成 臨床研究情報センター 小野寺 理恵 (13:30～13:50)
  - 説明同意文書のポイント 臨床研究情報センター 荒田 さおり (13:50～14:10)
  - 補償、賠償、保険医療の範囲について 臨床研究情報センター 永井 洋士 (14:10～14:30)

3. 血管再生治療TR (14:30～17:40)

座長 臨床研究情報センター (兼 京都大学) 福島 雅典  
肝細胞増殖因子(HGF)遺伝子治療と核酸医薬療法 大阪大学 青木 元邦 (14:35～15:05)

- 休 憩 - (15:05～15:20)

- 虚血性疾患に対する自家末梢血血管内皮前駆細胞移植 先端医療センター 川本 篤彦 (15:20～15:50)
- 末梢性血管疾患に対する生体内吸収性高分子担体(ハイドロゲル)/塩基性線維芽細胞増殖因子(bFGF) 京都大学 丸井 晃 (15:50～16:20)
- 急性心筋梗塞患者に対する自己骨髄幹細胞移植 京都大学 古川 裕 (16:20～16:50)
- 虚血下肢・心臓病への細胞移植再生医療 (TACT-1, -2) 関西医科大学 正木 浩哉 (16:50～17:20)

4. 総合討論 (17:20～17:40)

閉会の挨拶 臨床研究情報センター (兼 京都大学) 福島 雅典 (17:40～17:50)